

開講年度	令和6年度	開講課程	博士前期課程
授業名	健康科学特論		
開講キャンパス	紀三井寺	教室	基礎教育棟3階講義室2 中講義室304
科目区分	専門科目	配当年次	1年次
必修・選択の別	選択	単位	1単位
対象学生	—	使用言語	日本語
キーワード	地域住民、リハビリテーション医療、関節リウマチ、高齢者、皮膚、耳鼻咽喉科頭頸部外科、加齢、骨粗鬆症性骨折		
担当教員 (下線：科目責任者)	医	准教授 田中才一、准教授 北野尚美、准教授 岩田 慈、教授 荒木信一、講師 西山大介、教授 神人正寿、准教授 幸田 剣、教授 保富宗城	
	薬		
授業の概要	本講義ではリハビリテーション医療や透析医療、アレルギー疾患など、地域の保健医療課題の一つである高齢化や身近な疾患を取り上げることにより、自ら課題の解決に向けて取り組む能力を養うとともに、地域保健医療を推進する能力を培う。また、専門職医療人として必要な臨床知識・技術を身につける。		
到達目標	<input type="checkbox"/> 地域住民の健康状態と健康の決定要因について理解する。 <input type="checkbox"/> リハビリテーション医療の重要性を高いレベルで理解する。 <input type="checkbox"/> 関節リウマチの病態と最新治療を学習するとともに、今後の課題を理解する。 <input type="checkbox"/> 高齢者における眼疾患の知識を修得し、眼疾患によるロービジョンを理解する。 <input type="checkbox"/> 各種疾患における皮膚の重要性を高い知識レベルで理解する。 <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科頭頸部外科疾患の診療について高い知識レベルで理解する。 <input type="checkbox"/> 加齢に伴う体内環境調節の変化を理解する。 <input type="checkbox"/> 骨粗鬆症及びその進行に伴い軽微な外力で起こる骨粗鬆症性骨折の病態、治療を説明できる。		
授業計画	1. 高齢者の眼疾患（田中才一／1回）【9/2 6限】 高齢者の眼疾患の知識を修得し、眼疾患におけるロービジョンの理解を深める。 2. 地域住民の健康状態とその決定要因A（北野尚美／1回）【9/3 6限】 健康の社会的決定要因について解説し、ライフコースに沿った健康課題解決のためのアプローチについて考察する。 3. 関節リウマチの病態と最新治療、今後の課題について（岩田 慈／1回） 【9/3 7限】 関節リウマチの病因（遺伝的素因、環境因子）・病態と最新治療（特に生物学的製剤やJAK阻害剤）を学習するとともに、今後の課題を理解する。 4. 高齢社会における慢性腎臓病・透析医療の現況（荒木信一／1回） 【9/10 6限】 加齢に伴う体内環境維持機構の変化を学習し、高齢社会における慢性腎臓病・透析医療の現況と今後の課題を理解する。		

授業計画	<p>5. 骨粗鬆症と骨粗鬆症性骨折への取組（西山大介／1回）【9/17 6限】 骨粗鬆症及びその進行に伴い軽微な外力で起こる骨粗鬆症性骨折について解説する。</p> <p>6. 皮膚アレルギー疾患の病態、診断及び治療について（神人正寿／1回） 【9/17 7限】 アトピー性皮膚炎などの皮膚アレルギー疾患の病態、診断、治療についての最新の知見について考察し、理解を深める。</p> <p>7. リハビリテーション医療概論（幸田 剣／1回）【9/24 6限】 リハビリテーション医療の概論を解説し、地域の保健医療課題の解決に役立てる。</p> <p>8. 耳鼻咽喉科頭頸部外科疾患の分類・診断・治療・リハビリテーション（保富宗城／1回）【9/24 7限】 耳鼻咽喉科頭頸部外科疾患である聴覚・平衡覚・嗅覚・嚥下障害の分類・診断・治療・リハビリテーションについて理解を深める。</p>
授業の方法・形態	<p>講義を中心とする。 遠隔会議システムを利用した同時配信を行う。</p>
使用するメディア	<p>パワーポイント等によるスライド資料を使用する。</p>
成績評価の基準	<p>授業への取組20%（発問に対する応答や発言内容、主体的・積極的な受講姿勢）及びレポート80%によりS（90点以上）、A（80～89点）、B（70～79点）、C（60～69点）、D（59点以下）の5段階で評価し、C以上を合格とする。</p>
授業時間外の学修に関する指示	<p>教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。</p>
オフィスアワー（学生からの質問事項等への対応）	<p>担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。</p>
教科書・参考書	<p><b>【教科書】</b> 授業計画1・7・8 特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。</p> <p>授業計画2 「健康の社会的決定要因（第二版）」 編者：リチャード・ウィルキンソンとマイケル・マーモット 監修・監訳：高野健人 発行：特定非営利活動法人健康都市推進会議 <a href="https://www.tmd.ac.jp/med/hlth/whocc/pdf/solidfacts2nd.pdf">https://www.tmd.ac.jp/med/hlth/whocc/pdf/solidfacts2nd.pdf</a></p> <p>授業計画3 「リウマチ病学テキスト 第3版」 編集：日本リウマチ財団教育研修委員会・日本リウマチ学会生涯教育委員会 出版社：南江堂</p> <p>授業計画6 「あたらしい皮膚科学」 著者：清水宏 出版社：中山書店</p> <p><b>【参考書】</b> 授業計画7 「総合力がつくりハビリテーション医学・医療テキスト」 総編集：久保俊一、田島文博 出版社：日本リハビリテーション医学教育推進機構</p> <p>授業計画8 「新耳鼻咽喉科学」 著者：切替一郎 出版社：南山堂 「耳鼻咽喉科頭頸部外科領域のリハビリテーション」 著者・出版社：一般社団法人日本リハビリテーション医学教育推進機構</p>